

地域再生計画（地方創生整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	岐阜県	事業実施主体	揖斐川町	地域再生計画名	持続可能な森林整備と森と育む幸せ 自然健幸の街づくり計画
計画期間	令和4年度～令和8年度	評価責任者	総務部長		

地域再生計画の目標	基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	基準年度	年度	中間実績	基準年度	年度	指標総数		達成数			
目標1 年間観光客入込み客数の増加	179万人	R2	187万人	R6	133万人	197.4万人	R8	×	4	1	中間目標値を55万人ほど下回っている状況であるが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮すると大幅な回復傾向である。引き続き計画に則した事業の整備を図り、目標達成を目指していく。
目標2 転入者数の増加	315人	R2	495人	R6	446人	500人	R8	×			中間目標値を50人下回っている。このままでは目標達成が難しい状況であるが、引き続き計画に則した整備を図り、目標達成を目指していく。
目標3 間伐面積の増加	305ha	R2	805ha	R6	240ha	1,350ha	R8	×			目標値を大きく下回っている。少なからず災害やなり手不足の影響もあるが、現在は間伐事業が減少し、皆伐事業やその他の森林整備事業が重点的に実施されていることから、目標達成は困難である。
目標4 企業・NPO等団体と連携した森林づくり件数	2件	R2	3件	R6	5件	5件	R8	○			既に最終目標値を達成している。引き続き連携した取り組みを行いたい。

②事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度(R6)	最終実績見込み	
特別措置を適用して行う事業	町道整備事業	11.48km	6.71km	11.07km	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は、58%と若干前倒して推移しており、引き続き、計画に則した整備を目指していく。
	林道整備事業	3.28km	1.41km	2.83km	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は、43%と若干の遅れが伺えるため、必要に応じ、計画期間の延長も視野に入れ、引き続き、計画に則した整備を目指していく。
その他の事業	間伐等の森林保全・整備の推進	災害に強い森林づくりを推進するため、間伐等の森林整備事業の実施を促進する。			災害による治山事業と連携し、周辺の森林整備事業を実施した。
	森林整備に必要な林内路網整備の促進	間伐等の森林整備を効率的、効果的に実施するため、必要な林道や作業道等の路網整備を促進する。			間伐等の森林整備を効率的、効果的に実施できるよう林道や作業道等の路網整備を実施していく。また、この路網を活用した森林経営計画により利用間伐を促進していく。
	地域間交流のための広域的道路整備の促進	地域の利便性の向上や町内外の交流促進を図るため、岐阜県と滋賀県や福井県を結ぶ国道303号、417号の整備や県道の整備を促進する。			岐阜県と福井県を結ぶ国道417号の整備は令和5年11月に開通し、広域のかつ安定的な道路交通が確保された。引き続き改良が必要な区間の整備を促進していく。岐阜県と滋賀県を結ぶ国道303号や都市計画道路等は継続して整備を促進していく。
	木育事業の推進	森と育む学習を図るため「揖斐川図書館」に開設した木育ひろば等を活用した木育イベントを開催し、森林環境や森林づくりを学ぶ機会を創設する。			ジュニア森林マイスター養成講座(小学1年生～3年生対象)、「小学生森林マイスター養成講座」(小学4年生～6年生対象)を毎年各5回～8回開催し、町内の大木測定や揖斐川上流の森林体験・自然観察のほか木材を使用した工作(ペンダントや本棚作り等)を通して、子どもたちが森林資源に触れ、学ぶ機会を創出した。
	各種イベントの充実促進	豊かな自然や伝統文化などの地域資源と民間企業を中心とした新たに整備された観光資源・交流資源を結びつけた交流人口の増加促進施策や空き家バンク・新築住宅奨励金などを核とした移住定住施策の推進、イベントに絡めた婚活事業など各種イベントの充実を図る。			揖斐川町アウトドアフィールド構想により、観光地の魅力増進と地域資源を活用した民間主導の体験型イベントの実施など交流人口の増加促進を図った。また、移住・定住促進のため、住宅に対する補助事業など人口減少対策を実施した。
計画外で独自に実施した事業					

③評価方法 揖斐川町計画審議会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討を実施

④中間評価の公表方法 揖斐川町政策広報課ホームページに掲載

⑤計画全体の総合評価 本地域再生計画では、道整備交付金を活用した市道整備と林道整備を一体的に行うことにより、地域間のネットワークを強化することで、買物弱者対策や公共交通の利便性の向上により、住み続けたいまちづくりを推進している。引き続き、住んで良かった住み続けたいまちとして定住人口の増加を図る。

⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況	有りの場合その具体的内容
	地域再生計画の見直し（有・無○） 令和8年度予算要望額への反映（有・無○） 有りの場合の増減額 千円	

⑦今後の方針等に対する対応 地域再生計画の見直しは行わないが、引き続き計画に則した整備を進め、目標達成を目指す。